

第179回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ
『眼をひらく 』
こころ
心 をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2019年5月20日(月) 午後6時半～8時半

講 師 一楽 真 (いちらく まこと) 氏 (大谷大学教授)

講 題 今、ここでの救い

講師紹介

1957(昭和32)年、石川県小松市生まれ。
1980年、大谷大学文学部真宗学科卒業。
1985年、大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。
現在、大谷大学教授、真宗大谷派宗円寺住職。

先生からのメッセージ

浄土に生まれると聞くと、どこか別の世界に行くことだと思ったり、死んだ後のことのように考えたりしがちです。しかし、親鸞聖人が語られる浄土は、今ここに生きる私に関係しています。浄土によって、どのような生き方が開かれるのか、一緒に尋ねたいと思います。

MEMO

次回 第180回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2019年6月20日（木）午後6時半～8時半

講 師 尾畑 文正（おばた ぶんしょう）氏 （元同朋大学学長）

講 題 本願文に学ぶー五濁悪世のただ中でー

講師紹介 1947年三重県生まれ。同朋大学卒業、大谷専修学院卒業、大谷大学大学院博士課程満期退学。真宗大谷派南米開教前監督。現在、同朋大学名誉教授。真宗大谷派三重教区泉称寺前住職。著書に、『真宗仏教と現代社会』（福村出版）、『親鸞聖人の手紙から』、『仏さまの願いー四十八のメッセージ』（東本願寺）など多数

メッセージ

真宗門徒の生活の要は聞法です。それは問題のない更地とするのではなく、それぞれ問題のいっぱいある娑婆世界の只中、仏教でいう五濁悪世に在って絶対普遍の法により、相対有限な「私と私の世界」の真実と虚偽に目を覚ますことです。今回は阿弥陀の四十八願文の冒頭部分を取り上げて、阿弥陀の本願が私に何を語るのかを考えてみます。